

## キリスト教文化研究センターの歩み

平成30年度(2018～2019)

### ・所員会

平成30年度は、4月26日、5月31日、6月28日、7月26日、9月27日、10月25日、11月29日、12月21日、2月14日、の計9回開催。主にキャンパスコンサート、公開セミナーについて話し合いが行われた。

定例所員会としては、基本的に前・後期とも毎月最後の木曜日14：40～16：00に開催したが、例年のように、正規の授業以外に様々な企画や会議などの業務が増え、教員の仕事も多様化する中で、所員会への集合も難しい状況が続いた。平成30年度の所員数は、正所員 11名であったが、10月に所員1名が天に召された。

### ・キャンパスコンサート

平成30年11月6日(火) 13：00～14：30

奏者：「箏・フルートアンサンブルグループやよい」

場所： 江角記念ホール

11月6日(火)のアセンブリーの時間に全学向けのキャンパスコンサートを実施した。音楽を通して情操教育の一環となり、建学の精神をより深く体験できる機会となったようであった。「箏・フルートアンサンブルグループやよい」の皆さんは日本の伝統音楽を一人でも多くの方々に「親しみの持てる音として聞いてほしい」との願いから生田流箏曲彌生回師範のメンバーとフルート奏者により結成されたグループである。箏・三絃・十七弦・フルート奏者3名による調べに、「琴とフルートのアンサンブルは初めてで、とても美しく優しい音色に感動した。」「普段、日本の伝統音楽に触れる機会がないので、生演奏を鑑賞することができ、良い機会となった。」「琴の音色を聴いていると、とても心が洗われるような気持ちになった。」などと学生から、感動を込めた感想が多く寄せられた。

### ・公開セミナー

平成31年2月22日(金) 14：00～16：30

テーマ：「キリスト教と教育」

演 題：「聖書が教える愛」

講演者： 西経一氏 南山中学・高等学校長

対 象： 鹿児島純心女子大学全教職員(FD・SD)、学生(希望者)、一般

場 所： サンタマリア館 3F 階段講義室

2月22日(金)に大学のFD・SD(教職員研修)を兼ねた教職員対象の公開セミナーを開催した。講師として、南山中学・高等学校長の西経一神父様を招き、テーマ「キリスト教と教育」、演題：「聖書が教える愛」についてご講演を頂いた。その後質疑応答、懇談などが行われた。セミナーを通して、教職員一人ひとりが、キリスト教と大学教育を見つめ直す機会となり、多くの示唆を頂いたのではないかとと思われる。

## 出版活動

『キリスト教文化研究センター報告 第7号』2019年3月に発行した。

## 令和元年度(2019～2020)

### ・所員会

令和元年度は、4月4日、5月23日、6月27日、8月1日、9月26日、10月17日、11月28日、12月20日、1月30日、2月21日の計10回開催。主に奄美大島教会巡り研修、キャンパスコンサート、公開セミナー、クリスマスミサについて話し合いが行われた。

定例所員会としては、前・後期とも毎月最後の木曜日14:40～16:00を基本に開催したが、例年のように、正規の授業以外に様々な企画や会議などの業務が増え、教員の仕事も多様化する中で、所員会への集合も難しい状況が続いた。令和元年度の所員数は、正所員10であった。

### ・奄美大島の教会巡り研修 ―奄美の自然と教会を訪ねて―

日程 : 9月6日(金)～9月8日(日)

参加者: 12名

これまでも日本におけるキリスト教の文化や歴史等を訪ねる研修旅行を企画してきたが、今年度は、カトリック信者の多い土地柄でもあり、ミッションスクール大島高等女学校の縁の地でもある奄美に焦点を当て、奄美大島の教会巡り研修を企画した。奄美の自然や旅先での出会い、教会の歴史にも触れることができ、心豊かな旅路となった。

### ・キャンパスコンサート

令和元年11月5日(火) 13:00～14:30

奏者: アンサンブル・フェリックス

場所: 江角記念ホール

11月5日(火)のアセンブリーの時間に全学向けのキャンパスコンサートを実施した。アンサンブル・フェリックスの皆さまをお招きし、ヴァイオリン、ピアノの調べにあわせて、ソプラノの歌声にふれる機会を得、感動や癒しの一時となった。

- ・クリスマスの集い

12月19日(木) 16:30～

大学チャペル

キャンドルサービス、ミサ、茶話会の内容でクリスマスの集いを企画した。学生会、学生支援課、川内天辰修道院などの協力を得て、幼子イエス様の誕生の喜びを皆で分かち合う一時となった。学生・教職員の参加数は、最初は50名程度であったが、授業を終えて、三三五五チャペルを訪れてくださり、最終的には75名程度の参加があった。

- ・公開セミナー

令和2年2月27日(木)に柳田敏洋氏を講師にお招きし、公開セミナーを開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響を受け、急遽中止となった。

## 令和2年度(2020～2021)

- ・所員会

コロナ禍の影響で4月16日から5月6日まで緊急事態宣言が全国に出された。このため令和2年度は、緊急事態宣言期間中の休講およびオンライン授業に向けての準備期間を経て、5月11日から講義開始となった。例年はないコロナ禍での対応に追われたこともあり、令和2年度の所員会を開催できたのは7月に入ってからとなった。

所員会は、7月17日、10月23日、12月17日、2月25日、3月11日の計5回開催。コロナ禍で諸企画を例年通りに実施可能なのかを検討した上で、代替となる企画に関する話し合いが行われた。

- ・キャンパスコンサート・公開セミナー・クリスマス会

新型コロナウイルスの感染の終息が見通せないこともあり、令和2年度については、一斉に集まって実施する企画は全て中止となった。

- ・創立記念日の企画

コロナ禍の影響で毎年創立の日に行われる学園の日のミサが中止となった。その

ため、学生・教職員が創立の原点に立ち戻る機会となるようにとの趣旨で以下の企画を実施した。

#### 1. 学園の日にあたっての掲示

掲示内容：創立記念日の趣旨などを含めた内容

掲示期間：11月30日(月)～12月11日(金)

11月27日(金)に所員で協力して掲示した。

#### 2. 学園の日にあたっての学長メッセージの配信

- ・12月8日(火) 昼休みに学園の日にあたっての学長メッセージを放送。時間は5分程度。
- ・隔週登校で校内放送を聞けない学生のためにYouTubeで学長メッセージを配信。学生のための限定公開とし、期間を12月8日～12月15日とした。動画視聴回数は139回であった。

#### 3. 学園創立者江角ヤスのことばの花束づくり

- ・内容：校内のマリア像のうち20か所の足元に学園創立者江角ヤスのことばの巻物を置く。参加者はその中から15のことばを集め、台紙に貼り、ことばの花束を作成していく活動。

出来上がった言葉の花束には感想を書いた上で、チャペルのマリア像の前に提出。後日、12月17日・24日のマリーズカフェにおいて、ことばの花束の返却と共に参加記念品が渡された。

- ・期 間：11月30日(月)～12月11日(金)

11月27日(金)に所員で協力して設置した。

- ・参加者：53名(学生38名、教職員15名)

学部生は全学科、大学院生の参加もあった。

隔週登校期間中の開催であったが、参加者は楽しみながら参加したようであり、今後もこのような企画を望む声が聞かれた。